

❁ ごあいさつ ❁

明瀬 由武

今日はクリスマス・マリンバ・コンサートにお越し下さいまして誠にありがとうございます。

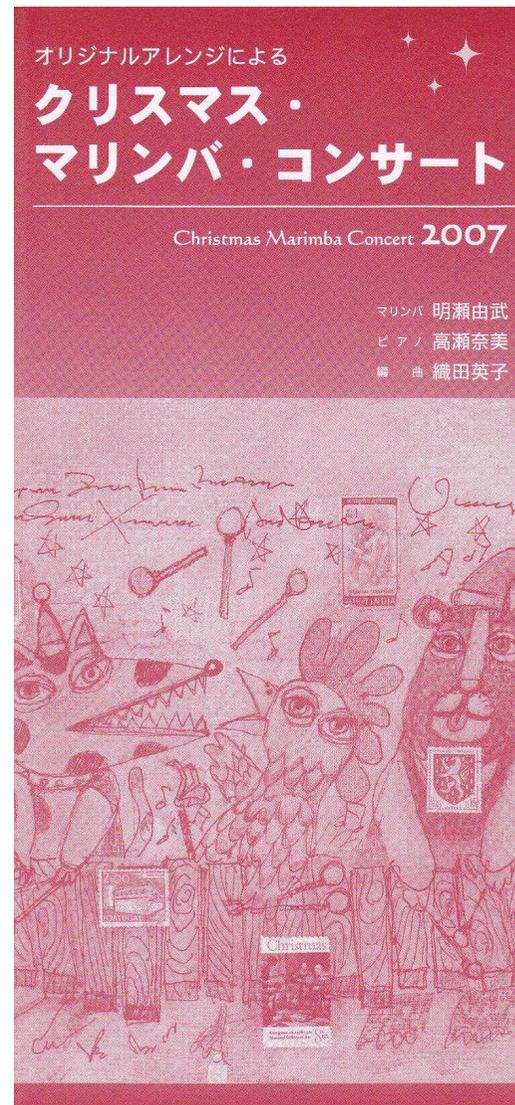
私がこどもの頃から演奏して参りましたマリンバを皆様に聴いていただけますことを、大変幸せに思っております。

マリンバの演奏会というと難解な現代作品が多いのですが、私は、この楽器の素晴らしさを少しでも多くの方に知っていただきたいと願って、親しみやすい曲を中心に演奏活動を続けております。

今日は、今年10月にリリースしましたCD「マリンバの贈り物 パート2～星降る夜に～」に収録されています織田英子さんの作品を演奏いたします。

どうぞ最後までごゆっくり、私たち演奏者とご一緒にお楽しみください。

この場をお借りしまして、イラストの古山浩一さん、写真の齋藤さだむさん、チラシデザインの久保順子さん、そして会を催すためにご協力くださったたくさんの方々に、心よりお礼申し上げます。



オリジナルアレンジによる

クリスマス・マリンバ・コンサート

Christmas Marimba Concert 2007

マリンバ 明瀬由武

ピアノ 高瀬奈美

編曲 織田英子

❁ Program ❁

● クラシックの贈り物

- 主よ人の望みの喜びよ ～カンタータ第147番より … J.S.バッハ
- 鳥の歌 ～カタルニャ地方のクリスマス曲～ …… P.カザルス
- きらきら星変奏曲
(「ああ、お母さん、あなたに申しませう」による変奏曲)
…………… W.A.モーツァルト
- トロイメライ ～子供の情景より …………… R.シューマン
- 組曲「くみ割り人形」より …………… P.チャイコフスキー
小序曲、行進曲、こんべい糖の踊り、あし笛の踊り、花のワルツ

休 憩

● 星の贈り物

- 星に願いを………… L.ハーライン
- エストレリータ (小さな星) …… M.ボンセ
- スターダスト………… H.カーマイケル

● クリスマスの贈り物

- キャンドル灯して
おとなしく眠るイエスよ、かいはおけに眠るイエスよ、
リトルドラマーボーイ、ウエンセスラスはよい王さま
- みどり児のうた
小さな王様、カーンカーンと空高く鐘が鳴る、
コヴェントリ地方のキャロル、羊飼いの笛のキャロル
- こどもの夢
おめでとうクリスマス、うるわしの青よ、ジンゲルベル
- 美しい天の光に
キリストは明日おいでになる、まぶねの傍えに、喜びは胸に
- サンタクロースにプレゼント
サンタクロースがやってきた、シルバーベル、
あわてんぼうのサンタクロース、ママがサンタにキスをした

私の作曲ノートと

CD「マリンバの贈り物 パート 2～星降る夜に～」の曲について

織田 英子

私は曲を書くとき、4、50 ページに綴じた五線紙ノートに書くことにしている。その数、最初に大学で使い始めたのから数えて今や 55 冊。表紙に作曲した年と月が書いてあって、一目でいつ頃書いたかが分かるようになっている、私の宝物である。

1998 年に第 1 作の CD「マリンバの贈り物～クリスマスの日～」が作られた。今回の CD「マリンバの贈り物～星降る夜に～」に収録された曲は 2000 年のノートから入っている。いつごろ出来たかを見てみると・・・

2000 年 10 月 キラキラ星変奏曲

2001 年 8 月 キャンドル灯して

2002 年 3 月 エストレリータ

2004 年 6 月 美しい天の光に

7 月 みどり唄のうた

8 月 こどもの夢

2005 年 7 月 サンタクロースにプレゼント

2006 年 3 月 星に願いを、主よ人の望みの喜びを

4 月 鳥の歌

「くるみ割り人形」のメドレーはたしか一枚ずつ分かれた五線紙に書いた。こうなると年月不詳。「スターダスト」と「見上げてごらん夜の星を」はトランペットとピアノのために書いたものをリメイクしたのでこれもはっきりしない。あと、トロイメライは 1983 年頃。明瀬さんから頼まれて、私がアレンジした初めてのマリンバの曲で、ノートには残っていないけど覚えている。こうしてみると、同じ年に続けて 3 曲もクリスマスメドレーを書いたり、同じ月に 2 曲書いたり結構ムラがある。でもたくさん書いた時は、実はのりになっていたのではなく、私が書けなくて溜め込んでいたのを一気に解消しようとした、苦しい時なのだ。

ところで、クリスマスメドレーが 2005 年の 15 曲目（サンタクロースにプレゼント）から増えない理由について。私のアレンジに対する考えでは、クリスマスメドレーというのはちょっと聞いただけで「あっクリスマスだ！」と分かる誰でもよく知っている曲が出て来てこそ、その価値があると思っている。明瀬さんは毎年クリスマスコンサートをなさ

っていて、「あまり知られていなくても良い曲ならいいんじゃないの？」とおっしゃるもので、ついつい 15 曲も出来てしまった。イギリスのカロルや子供の賛美歌まで参考にして、CD のライナーノートをかいてくださった青島氏をして「よくこんなに探したものだ」と言わしめたほどの内容。でも、あまり知られていない曲をつないで音楽があふれ出るような感じを出していく難しさにほとんど困ってしまい、このシリーズはここで終了することにした。

「自分ひとりではマンネリになるから、他の人にも編曲してもらって」とお願いしてきたが、今回もまた、何年も気長に待ってくださって、私の曲がたまったところで CD にしてくださった。本当にありがたく、そして申し訳ない！

・・・今回もまたお詫びの入った文章になってしまった。